

## 平成 31 年度会津支部総会

平成 31 年度会津支部定期総会は、4 月 24 日、竹田総合病院竹田ホールで行われました。

開会にあたって高田支部長より、日臨技では各種認定の取得を勧めておりホームページにも e ラーニング等あるので見てほしいこと、また日臨技総会、理事会の議事録なども見てほしいこと、多職種連携講習会にも参加してほしいと挨拶がありました。

続いて県技師会の山寺会長より、第 69 回の全国学会が福島県担当で 2020 年 4 月 25・26 日、仙台市を会場に行われることが決まったことについての報告がありました。震災から 10 年を経過するのを前に「Jump to the next decade」をテーマに開催され、県から 60 題を目標にしています。また、宮島会長が財務大臣政務官に就任し日臨技会長業務は横地副会長が代行すること、自分たちの未来のために応援しましょうとの話がありました。

総会は、竹田総合病院の江川百合子さんを議長に選出し議事に入りました。議事は滞りなく審議され全て承認されました。

## 【一部役員の変更】

幹事：渡部さつき（坂下厚生総合病院）

幹事：外川英次（県立南会津病院）

監事：杉原正人（会津西病院）



## 学術講演会



定期総会后、学術講演会が開催されました。

「病院に来る人の心の中を知るための心理学のヒント」と題して竹田総合病院 公認心理士 石橋和幸先生に講演いただきました。

人が病院に来るのは痛みの強さによってではなく不安の強さによってであり、病院にはさらに人を不安にさせる種がたくさんある。見慣れない最新の機器、わかりにくい言葉、あいまいな説明、長い待ち時間などはさらに人を不安にさせ、不安はクレームにつながる。わかりやすい説明、十分な情報提供は人を安心させるのに不可欠である。

集団で仕事をしていると責任感、使命感、緊張感が分散しがちである。職員にとっては日常でも患者さん、家族にとっては非日常で、記憶に鮮明に残り心無い言葉に過敏に反応することを一人一人が意識して仕事をする必要がある。

また、人はまわりからどう見られているかを気にしており弱い部分を隠して尊厳を保っている。入院すると援助を受ける立場になったりプライベートがさらされたりして尊厳が維持できなくなる。尊厳を維持してもらうためには、自分が当事者だったら「してほしくないこと」「してほしいこと」を基準にして患者さんがどう思っているのか感じ取る必要がある。

気付かないうちに不快な思いをさせないために、日頃無意識のうちに行っていることをあらためて考えさせられる内容でした。また、質問に対しても率直に解りやすく回答していただきました。

## 新人紹介

今年度会津支部に入られた方々です。よろしくお願ひします。(順不同、敬称略)

五十嵐 彩 (竹田総合病院)

石川 愛実 (竹田総合病院)

猪股 綾優静 (竹田総合病院)

星 明朱佳 (会津医療センター)

## 公益事業報告

### 臨床検査業務見学会

令和元年度臨床検査業務見学会は、8月31日(土)に会津医療センターを会場に行われました。今年には会津若松市・喜多方市の5つの高校より11名の参加がありました。

高田支部長のあいさつに続き、新潟医療福祉大学の川村宏樹先生より「目指せ 検査のスペシャリスト臨床検査技師! ~でも、どうすればなれるの?~」と題して臨床検査技師の仕事と資格の取得方法をわかりやすく話していただきました。

臨床検査技師は科学的根拠に基づいて患者さんの病気を最初に発見し治療による回復状態を医師に提示する病院の最前線にいるスペシャリストであること、また、臨床検査技師になるための方法について、大学のカリキュラムや実習の様子を交えながら紹介していただき、国家試験合格後もスペシャリスへの道が続くことを話されました。高校生からのよくある質問の答えとして、どういう仕事にむいているかオープンホスピタルや体験会に参加し、学校の特色を実際に見て決めてほしいこと、今の授業が今後の進路の基礎になることなどを熱心に講義していただきました。



続いて中央病院の濱崎さんが臨床検査技師を目指した理由、就職してからの仕事のことを話しました。濱崎さんは高校の先生に勧められて検査技師の学校を選んだこと、全国的にも珍しい眼科病院に就職して稀な検査を行ってきたこと、結婚を機に会津に来て中央病院に就職したこと、中央病院では心電図、呼吸機能、超音波などを担当し乳がんの早期発見につながるなどやりがいのある仕事であることを話しました。



その後、4グループに分かれて、例年どおり「血液・一般」「化学・免疫」「輸血」「微生物」「生理」「病理」の6セッションを見学しました。



アンケートによると11名全員が大変良かった、良かったと回答しています。興味を持った分野は生理検査(8名)で超音波など専門的なことを学べたこと、化学免疫検査(7名)で、実際に血液検査を体験したことなどでした。

たくさんの仕事があっぴゅくりした、臨床検査にもたくさんの業務があることがわかったなど、また別の職種の見学会にも参加したいという意見もあり医療の場に触れる良い機会となったようです。